

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社
 コード番号 2108 URL <http://www.nitten.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

(氏名) 小笠原 昭男
 (氏名) 沖 有康

TEL 03-6414-5522

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	42,714	—	1,783	—	1,951	—	1,113	—
20年3月期第3四半期	39,761	△4.7	1,769	△26.7	1,948	△20.0	1,109	△21.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	7.68	—
20年3月期第3四半期	7.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	87,583	61.3	53,676	61.3	—	—	374.60	61.3
20年3月期	83,556	67.1	56,081	67.1	—	—	385.87	67.1

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 53,676百万円 20年3月期 56,081百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当3円00銭

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,300	4.7	2,560	△0.8	2,600	△3.8	1,560	5.9	10.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 153,256,428株 20年3月期 153,256,428株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 9,964,002株 20年3月期 7,919,746株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 145,014,205株 20年3月期第3四半期 146,358,814株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）のわが国経済は、米国の金融危機の影響を受けた世界的な景気後退が国内経済に波及し、急激な円高の進行と相俟って、景気は急速に悪化いたしました。

砂糖業界におきましては、製造物流コストの上昇などを背景に国内砂糖市況は比較的堅調に推移しましたが、深刻化する景気後退の影響を受け、消費の低迷、需要の減少が懸念される状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比7.4%増の42,714百万円となり、経常利益は前年同期比0.2%増の1,951百万円、四半期純利益は前年同期比0.4%増の1,113百万円となりました。

※「定性的情報」における前年同期比増減率は、参考として記載しております。

事業別の概況は次のとおりであります。

<砂糖事業>

砂糖事業の売上高は30,646百万円となり、営業利益は384百万円となりました。

<その他食品事業>

その他食品事業の売上高は1,862百万円となり、営業利益は36百万円となりました。

<農畜産事業>

農畜産事業の売上高は8,013百万円となり、営業利益は614百万円となりました。

<不動産事業>

不動産事業の売上高は1,012百万円となり、営業利益は586百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業の売上高は1,179百万円となり、営業利益は226百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比4,026百万円増の87,583百万円で、このうち流動資産は、主にたな卸資産の増加により前連結会計年度末比9,179百万円増の49,576百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の下落により前連結会計年度末比5,152百万円減の38,006百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比6,430百万円増の33,906百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の増加により前連結会計年度末比8,445百万円増の22,663百万円となり、固定負債は、主に繰延税金負債の減少により前連結会計年度末比2,015百万円減の11,242百万円となりました。

純資産は、主にその他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末比2,404百万円減の53,676百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年5月16日に発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

i. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積を考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

ii. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更に伴う損益に与える影響はありません。

(追加情報)

法人税法の改正(所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号)による耐用年数の見直しにより、当連結会計年度より耐用年数の見直しを行っております。これにより、第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ68百万円減少しております。この変更によるセグメント毎の影響については、事業の種類別セグメント情報の注記に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,858	6,279
受取手形及び売掛金	5,851	7,041
有価証券	2,500	1,100
商品及び製品	16,890	18,385
原材料及び貯蔵品	10,414	2,654
仕掛品	4,039	3,207
その他	5,029	1,737
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	49,576	40,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,205	12,450
その他(純額)	13,169	13,232
有形固定資産合計	25,375	25,683
無形固定資産		
	58	85
投資その他の資産		
投資有価証券	11,602	16,453
その他	973	941
貸倒引当金	△3	△4
投資その他の資産合計	12,572	17,390
固定資産合計	38,006	43,159
資産合計	87,583	83,556
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,016	1,151
短期借入金	11,001	7,805
未払法人税等	132	687
その他	8,513	4,573
流動負債合計	22,663	14,218
固定負債		
長期借入金	620	761
退職給付引当金	4,096	4,102
役員退職慰労引当金	10	8
その他	6,514	8,384
固定負債合計	11,242	13,257
負債合計	33,906	27,475

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,407	8,406
利益剰余金	36,801	36,414
自己株式	△2,154	△1,658
株主資本合計	51,333	51,442
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,342	4,639
繰延ヘッジ損益	0	△0
評価・換算差額等合計	2,343	4,639
純資産合計	53,676	56,081
負債純資産合計	87,583	83,556

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

売上高	42,714
売上原価	30,623
売上総利益	12,091
販売費及び一般管理費	
販売費	8,326
一般管理費	1,981
販売費及び一般管理費合計	10,307
営業利益	1,783
営業外収益	
受取利息	46
受取配当金	294
持分法による投資利益	10
その他	34
営業外収益合計	386
営業外費用	
支払利息	140
その他	78
営業外費用合計	218
経常利益	1,951
特別利益	
固定資産売却益	5
保険差益	15
補助金収入	10
その他	2
特別利益合計	33
特別損失	
固定資産処分損	44
ゴルフ会員権評価損	8
その他	4
特別損失合計	56
税金等調整前四半期純利益	1,928
法人税等	814
四半期純利益	1,113

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,928
減価償却費	1,924
持分法による投資損益(△は益)	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2
受取利息及び受取配当金	△341
支払利息	140
投資有価証券評価損益(△は益)	4
ゴルフ会員権評価損	8
有形固定資産売却損益(△は益)	△2
有形固定資産除却損	29
売上債権の増減額(△は増加)	1,188
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,096
前払費用の増減額(△は増加)	△90
未収入金の増減額(△は増加)	156
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,327
仕入債務の増減額(△は減少)	1,865
未払消費税等の増減額(△は減少)	△267
その他の流動負債の増減額(△は減少)	4,174
その他	△215
小計	61
利息及び配当金の受取額	342
利息の支払額	△122
保険金の受取額	113
法人税等の支払額	△1,370
営業活動によるキャッシュ・フロー	△976
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△800
定期預金の払戻による収入	800
投資有価証券の取得による支出	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,000
有形固定資産の取得による支出	△1,675
有形固定資産の売却による収入	50
預り保証金の受入による収入	5
預り保証金の返還による支出	△391
その他	137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△876

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	10,620
短期借入金の返済による支出	△7,340
長期借入れによる収入	170
長期借入金の返済による支出	△395
配当金の支払額	△724
自己株式の取得による支出	△500
自己株式の売却による収入	5
リース債務の返済による支出	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,832
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20
現金及び現金同等物の期首残高	7,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,358

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	砂糖事業 (百万円)	その他 食品事業 (百万円)	農畜産 事業 (百万円)	不動産 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	30,646	1,862	8,013	1,012	1,179	42,714	—	42,714
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	20	—	57	6,209	6,289	(6,289)	—
計	30,647	1,882	8,013	1,070	7,389	49,003	(6,289)	42,714
営業利益	384	36	614	586	226	1,848	(64)	1,783

(注) 1 事業区分は製品の種類・性質および販売市場等の類似性を考慮して区分しております。

2 各事業区分に属する主要な内容

砂糖事業……ビート糖、精糖、ビート糖蜜、精糖蜜、ポケットシュガー等

その他食品事業……イースト、ラフィノース、ベタイン、DFAⅢ等

農畜産事業……ビートパルプ、配合飼料、紙筒、種子、調整泥炭、農業機材等

不動産事業……不動産賃貸等

その他の事業…貨物運送、石油類販売、スポーツ施設・書店営業等

3 「追加情報」に記載のとおり、法人税法の改正(所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号)による耐用年数の見直しにより、当連結会計年度より耐用年数の見直しを行っております。これにより、第3四半期連結累計期間の営業利益は砂糖事業で62百万円、農畜産事業で5百万円、不動産事業で0百万円それぞれ減少し、その他食品事業で0百万円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	
	金額	
		(百分比)
		%
売上高	39,761	100.0
売上原価	28,337	71.3
売上総利益	11,424	28.7
販売費及び一般管理費	9,655	
営業利益	1,769	4.5
営業外収益	414	
営業外費用	236	
経常利益	1,948	4.9
特別利益	17	
特別損失	20	
税金等調整前四半期純利益	1,945	4.9
税金費用	835	
四半期純利益	1,109	2.8